

# 2024年度辻Aゼミ概要

## 1. 現代のリスク社会の排除と包摂

- ・ 失業
- ・ 病気・ケガ
- ・ 貧困
- ・ 老齢・子育て
- ・ 災害



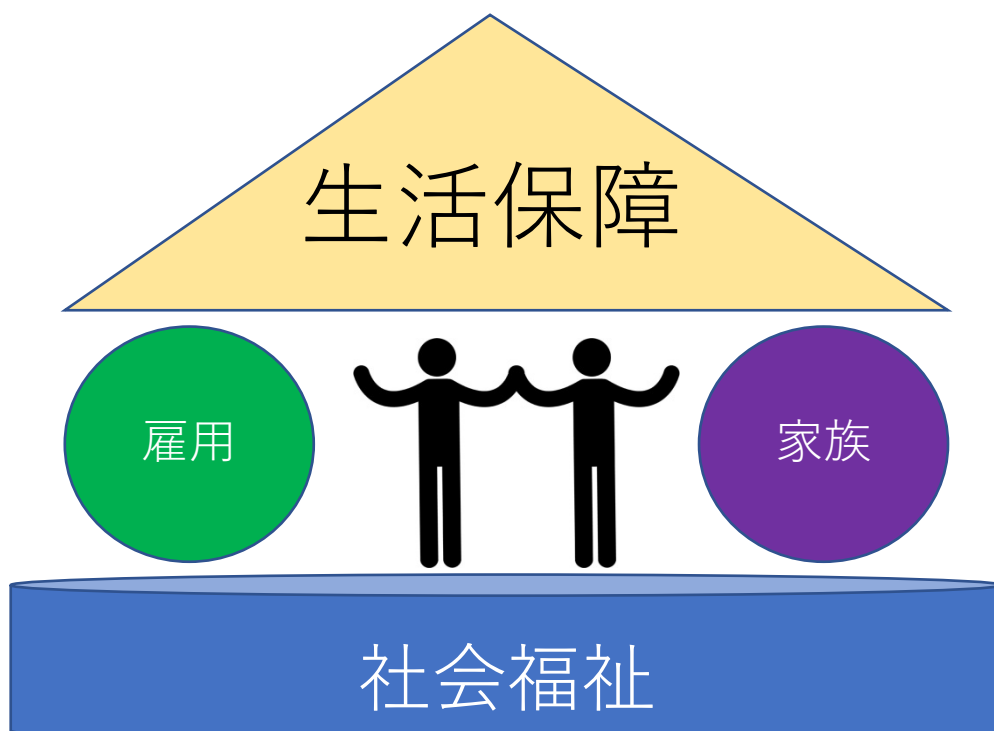
自力では生活できない  
社会生活から排除される  
人々 = 「**社会的弱者**」

→**どうやって生活を保障し、社会に包摂するのか？**

## 2. 日本の生活保障

- ・ ひとびとの生活を維持するためのさまざまな制度のあり方。19～20世紀に歴史的に形成されてきた。
- ・ 基本的には家族と雇用が人々をリスクから守っている。さらに社会福祉がひとびとを支えている。これらが連携し合って人々を孤立からまもり、社会に包摂している。
- ・ 先進国のあいだで基本構造はほぼ同じ。それぞれ特有の問題を抱えるが、学び合いは可能。

→**ゼミでは、日本と世界の生活保障のしくみと歴史を学ぶ。**

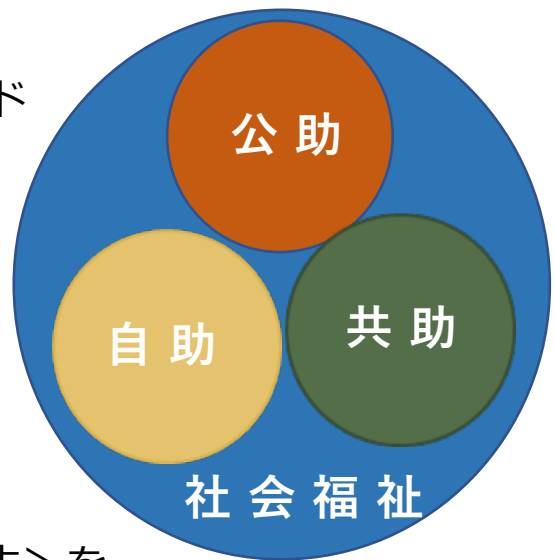


### 3. 日本の社会福祉

日本の社会福祉を支える3つのモード

- **公助**：社会保険、生活保護
- **自助**：家族、当事者団体
- **共助**：NPO、ボランティア、  
地域社会

→参加者は、生活保障・社会福祉に関する  
ことであれば、地域・時代・テーマは自由に選んでよい。



※2024年度は、〈外国人市民との共生〉を  
とりあげます（毎年変わります）。

### 4. ゼミの活動について

以下のものを取り混ぜておこない、年度末にはレポートを  
執筆します。

- **文献講読**：毎回担当者を決め、レジュメをつくって報告  
（長い場合は2人以上で分担）。
- **グループワーク**：参加者各自の関心に応じてグループに分  
かれ、調べた内容を報告する。
- **フィールド調査・現地訪問**：毎年のテーマに関連する施設  
や団体を訪問し、その活動を見学またはその手伝いをする  
ことでグループワークに活かす。  
：2023年度は学習支援や子ども食堂を訪問
- **サブゼミ**：2年生のための文献講読や4年生の卒論の準備。
- **他大・他研究会との合同ゼミ・ゼミ合宿・遠足など外部で  
の催し**：年1回程度実施。

※2024年度は辻がサバティカルのため、代講の先生が一部の  
授業を担当します。

### 5. オープンゼミ・説明会

- オープンゼミ：10/24、10/31、11/7、11/14 とともに火  
曜5限、BT0602
- 説明会(対面)：10/30、11/6 とともに昼休み、BT0508
- 質問がある場合は、辻までどうぞ。  
メール：tsuji@hosei.ac.jp